

### ■米国：テキサス州が再エネに対する支援廃止を検討

2015年3月22日付の報道によると、テキサス州のTroy Fraser上院議員は再エネに対する州の支援を廃止する法案を提出した。テキサス州は国内で最大の風力発電導入量を誇っており、設備容量の20%を占めている。同州では2025年までに1,000万kWの再エネ導入を目指していたが、既に風力発電の設備量は1,280万kWに達している。Fraser氏は、これ以上の支援は不要として、州の再エネクレジットプログラム（小売事業者が再エネ事業者から再エネクレジットを購入）の終了とCREZ（競争的再エネ開発地域）における送電線開発プロジェクトの正式な終了を提案している。法案は、上院での審議の前に州の天然資源委員会で議論される予定である。